

～おうちスカウティング・ステイホーム～

市内の各団では、活動自粛期間中もオンラインで集会をするなどして、活動を続けてきました。今できること、今必要なことを自分たちで考え実行した子どもたち。マスク作り、医療従事者へ感謝を伝える動画の作成、感染症についての学習などを行いました。



たくましく元気に成長する子どもたち

ボーイスカウト・ガールスカウト活動

問合せ／生涯学習課(☎306-8692)



昨年は世界ジャンボリーに参加するためアメリカへ。他国の仲間と交流でき、視野が広がりました。



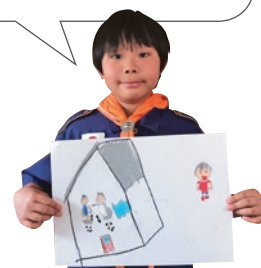
ボーイスカウト水戸第2団
ベンチャー隊 縣巧琉さん

ガールスカウト茨城県第18団
シニア部門 坪来緋菜さん



キャンプが一番の思い出。自分たちで出し物を考えるキャンプファイヤーが特に楽しかったです！

ステイホーム期間中は、病院で働く人に「ありがとう」を伝える動画づくりに参加しました！



ボーイスカウト水戸第4団
カブ隊 雨谷琉生さん

ガールスカウト茨城県第26団
リーダー 栗田和佳さん



小学2年生のときに入団し、今は指導者をしています。活動の中で、自然とリーダーシップが身についたと感じます。

スカウト活動とは？

ボーイスカウト・ガールスカウトなどのスカウト活動とは、子どもたちの健全な育成を目指す活動です。イギリスで1907年にはじまり、現在、約170の国・地域で行われています。特徴は、子どもたちの自主性を大切にする。グループでの活動をおし、たくましさやリーダーシップ、協調性、社会性などを身につけます。

子どもたちは、成長の段階に応じて年代ごとの部門に分かれ、大人の指導者(リーダー)に見守られながら活動します。キャンプやハイキングに代表される野外活動、募金・清掃奉仕などのボランティア活動のほか、芸術文化を体験したり、社会や環境について学んだり、活動内容は実にさまざまです。

水戸のスカウト活動

現在、市内には、ボーイスカウト5か団、ガールスカウト6か団の計11か団があり、約230名の子どもたちが元気いっぱい活動しています。各団では、例年、水戸黄門漫遊マラソンなど、地域のイベントに積極的に参加し、ボランティア活動をしています。また、市と各団では「市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会」をつくり、相互に交流したり、合同で大会を行っています。

ぜひ一緒に活動しましょう！

ボーイスカウト・ガールスカウトの魅力は、さまざまな経験ができることです。よく皆さんがイメージする野外活動だけでなく、例えば茶道などの日本文化にふれたり、平和について学習したりと幅広く活動しています。ともに活動するのは、いつもの学校の友達とは別の仲間やリーダーたち。多くの人と関わり合いながら、さまざまな経験をすることで、子どもたちは、たくましく成長していくのです。スカウト活動を始めるのは、いつからでも、何歳からでも遅くはありません。活動は、おおむね月2回程度なので、無理なく参加できるでしょう。少しでも興味があれば、ぜひ活動を体験してみてください。きっと続けたいと思いますよ。まずは市内の各団から生涯学習課にご連絡ください。皆さんの参加を心待ちにしています。



市ボーイスカウト・ガール
スカウト連絡協議会
会長 舟木むつ子さん

ボーイスカウト

対象／小学1年生～25歳 ※団により、未就学児も受入れ、男子のみなど例外あり。
部門／ビーバー(小学1年生から)
カブ(小学3年生から)
ボーイ(小学6年生から)
ベンチャー(高校1年生から)
ローバー(18歳～25歳)



画像提供／ボーイスカウト日本連盟

ガールスカウト

対象／小学校就学1年前～高校3年生の女子
部門／テンダーフット(未就学児)
ブラウニー(小学1年生から)
ジュニア(小学4年生から)
シニア(中学1年生から)
レンジャー(高校1～3年生)



画像提供／ガールスカウト日本連盟

各国の問合先など、詳細は、市ホームページをご覧ください。
生涯学習課(☎306・8692)
へお問合せください。

